

Monthly Report

- I. キャンプディレクター養成講習会・大阪会場(PD)追加
- II. グリーンキャンプ El Tesoro de la Vida 報告
 - ・ 都道府県キャンプ協会事務局担当者のみなさまへ
 - ・ NCAJ CALENDAR
 - ・ TOPICS

先日、WEB サイトの問合せフォームを通じて、あるキャンプ協会の団体が早朝から騒がしくて迷惑だったという、キャンプ場利用者からのメッセージが届きました。メールでのやりとりでしたので、その方が書いておられる「早朝」というのが何時頃であったのかなど、詳しいことはわかりませんが、確かに夜であれ、朝であれ、眠りを妨げられるのはいやなものです。

キャンプ場でほかの利用団体の迷惑にならないようにふるまうというのは、いわゆるマナーの問題ですが、この「マナー」というのは実にやっかいです。というのも、マナーの基準になるのは、ある程度はっきり線引きされた「規則」ではなく、境界がぼんやりとあいまいな「常識」というやつだからです。たとえばその早朝が「3時」だったなら、多くの人が「さすがにそれは非常識でしょ」と思います。では、「6時」だったらどうでしょう? 「早朝というほどじゃないよ」と思う人も多いはずですが、でもそのグループがどんちゃん騒ぎをしていたら、6時であってもマナー違反になりそうです。どのあたりが正解なのかはよくわかりませんが、少なくとも「〇〇時以降に、□□デシベル以下ならセーフ」というように、数字を示して線引きができるような簡単なものではありません。

「まわりの人を気づかってキャンプを楽しみましょう」

この言葉はあまりにも単純で、「常識的」であるがゆえに、「あえて言うこともないだろう…」と、殊更言及されない状態が続いたのかもしれませんが。忘れがちだけれど大切なことについて、改めて確認してみることも必要だと考えさせられる出来事でした。

事務局 長 金山 竜也

都道府県キャンプ協会事務局担当者のみなさまへ：県協会内での情報共有を図るため、協会役員の方々への転送をお願いいたします。

I. キャンプディレクター養成講習会・受講生募集 ～愛知会場(PD)・大阪会場(PD)が追加されました～

キャンプディレクター1級・2級養成講習会の受講者を募集中です。新たにキャンプディレクター2級(PD)愛知会場、大阪会場が追加されました。周囲にステップアップを目指す指導者会員がおられましたら、ぜひ参加を呼びかけていただくようお願いいたします。

キャンプディレクター2級(PD)

会場	日程	申込締切	受講料
広島	10/6-8	9/7	36,000円
愛知	11/23-25	10/20	36,000円
大阪	2/9-11	1/11	36,000円

キャンプディレクター2級(MD)

会場	日程	申込締切	受講料
東京	2/16-17	1/25	18,000円

キャンプディレクター1級

会場	日程	申込締切	受講料
静岡	11/22-25	10/26	46,000円

- ・ コースごとに受講要件が設定されています。
- ・ PDコースは県協会主催で実施されます。
- ・ 各会場ともに最少催行人数・定員が設定されています。
- ・ ディレクター1級検定会(1/19-20)は受検対象者に別途ご案内します。

詳細は開催要項をご覧ください。

www.camping.or.jp/2012CD.pdf

PD 広島会場

www.camping.or.jp/2012PDhiroshima.pdf

PD 愛知会場 (近日中に公開します)

www.camping.or.jp/2012PDaichi.pdf

PD 大阪会場

www.camping.or.jp/2012PDosaka.pdf

BUC や各種研修等は日本キャンプ協会 WEB サイト内「イベントカレンダー」でもご紹介しています。

II. 25周年を迎えたグリーンフキャンプ「El Tesoro de la Vida」を見学してきました

これまでにCAMPING等でもご紹介してきました、Camp Fire USA First Texas Councilが行っているグリーンフキャンプに、日本から2名が参加してきました。昨年は猛暑のために多数キャンセルがあり、100人弱の参加でしたが、今年は111人の初めての参加者を含む、約150人が参加しました。もっとも、今年も暑いことには変わりなく、連日40℃の暑さでしたが、子どもたちは元気に7日間のキャンプを楽しみました。



思慮深き10歳

このキャンプに参加しているのは、肉親を亡くす経験をした子どもたちです。キャビングループごとに、1日1時間のグループセッションが持たれ、亡くなった人のことや今の気持ち、将来のことなどを話したり、さまざまな方法で表現したりします。このセッションはプロのセラピストによって進められ、年齢や性別、そしてグループの様子を反映したプログラム展開がなされます。

私たちが参加したのは10歳前後の男の子たちのグループでした。この年代であれば、「死」がどのようなものであるかを理解しており、感情の言語化も可能なので、話すことを中心にセッションは進められます。

最初にセッションを行う上でのルールを確認するのですが、セラピストのクリスはまず子どもたちに「ここでのルールにはどんなものがあると思う？」と問いかけます。子どもたちの答えはまさに正解という感じのものもあれば、とんちんかんなものもあります。それでもクリスは一つひとつにきちんと応答し、このセッションが極めて民主的、受容的に進められるであろうと確信させてくれます。

ある日、素焼きの植木鉢を使ってセッションが進められました。クリスが「植木鉢と人間にどんな共通点があると思う？」と聞くと、さまざまな答の中に「壊れることがある(Breakable)」「内側からのプレッシャーに耐えることができる」というものがあり、ドキッとさせられました。自分がその年齢だったときを思い返してみても、そのようなことを言ったとは思えません。しかし、彼らは大切な人を亡くし(病死だけでなく、殺人や自殺といった理由もあります)、それによって生活も大きく変わっています。人はかけがえのないものを失っても、その喪失に耐えるしかありません。気持ちを整理するためには、どうしたって思慮深くならないのでしょうか。それは「子どもらしくない」ことかもしれませんが、考え抜くしか、喪失と折り合いをつけて、未来に目を向けるための方法はないのだと思います。



セラピストのリードで、少しずつ過去のこと、今のこと、将来のことなどを話します。

とことん楽しい毎日

とはいえ、そこは小さな子どもたち、ちゃんと「子どもらしい」時間もなければ、思慮深くなる時間の重さに耐えきれません。だからキャンプのほとんどは楽しい、楽しい時間です。

乗馬にアーチェリーはアメリカのキャンプの定番アクティビティです。40℃を超える暑さだから、みんながプールの時間を楽しみにしています。「ロディオ」は近所の教会ボランティアのグループが用意してくれる夜店のようなもので、かき氷にフェイスパイント、ロバとの記念撮影にバイクの曲乗りなど、楽しいことが目白押し。マジックショーは、シンプルに見えて実はかなり高度な技が続々と繰り出されます。そして、ダンスナイトでは、子どもたちもスタッフも大はしゃぎです。

また、キャンプが始まって数日たったある日、私は子どもたちの質問攻めにあいました。異質な日本人の存在にも慣れ、キャンプに来たときの緊張もほぐれてきたのでしょうか。突然、



「ロディオ」は毎年、子どもたちが楽しみにしているイベントです。

「UWABAKI、知ってる？」と聞かれても、「UWABAKI」が「上履き」だとわかるには少し時間がかかりました。「Tokyo Drift」というカーアクション映画の中に出てきて覚えてほしいのですが…。「東京ではあんなふう
に車が走ってる?」「そんなことないよ!」「ニンジャに会ったことある?」「東京では会ったことないけど、
IGA という街ではニンジャがお城を守っているよ」。そんなバカバカしい会話が、彼らが 10 歳の男の子だ
ということを思い出させてくれました。

市民の仕事

このキャンプは、非常に多くの人に支えられています。80 人近くいるボランティアスタッフは、割り当
てられた仕事をきちんとこなし、さらに子どもたちに目を配ります。ここでは「キャンプは人生を変えうる力
を持っている活動である」という認識が共有され、「市民の仕事として、子どもたちのために働こう」とい
う共通の思いがあります。その気持ちを持った人々が役割分担し、喜々としてキャンプを動かしている様子
には、素直に感動を覚えました。

一方、キャンプに参加できない人たちは、資金集めなどの側面的支援をします。春には資金集めのパー
ティーが行われたのですが、そこで日本のために集められたお金もありました。テキサス・レンジャーズで活
躍するダルビッシュ選手サインボールとキャンプナースのバーバラさんが描いたストーンペインティン
グがオークションにかけられ、売り上げの一部、2,200 ドルをいただきました。本当にありがたいことです。

キャンプは極めて労働集約的な事業であり、ボランティアな
市民の存在が大きな力になります。地域社会に困った問題があ
るときに、「キャンプを使ってなんとかしてみよう」と多くの力
が自然と結集されるような仕組みは、どうしたら作ることが
できるのか。多くのボランティアの姿を見て、深く考えさせられ
ました。

今回の訪問では、地域のグリーフケアセンター「The WARM
Place」を訪ねてお話をうかがうなどもして、大変多くの学びが
ありました。1 週間を 40℃の暑さと子どもたちのわかりにくい
英語の中で過ごすのは大変なことですが、多くの方、特に社会
貢献としてのキャンプに関心のある若い方に体験していただき
たいと思っています。我こそはという体力と英語力に自信のあ
る方は、ぜひ立候補してください。



シェーンは子どもたちにも大人気のボラン
ティアスタッフ。いろんな年代の人がいるこ
とが温かい雰囲気を作っています。

El Tesoro de la Vida 紹介ビデオ <http://youtu.be/VnbfzIRcoJk>
グリーフケアセンター The Warm Place <http://www.thewarmplace.org>

各都道府県キャンプ協会事務局担当者みなさまへ

加盟申込書・業務提携契約書等の提出をお願いします

「公益社団法人日本キャンプ協会加盟申込書」および「業務提携契約書」の提出がまだの県協会は、至急ご提出く
ださい。この手続きは各県協会会費を日本キャンプ協会が代理徴収する根拠となる重要なものです。

平成 24 年度キャンプディレクター特別認定の締め切りは 9 月 30 日です

県協会の運営体制強化を目的とした「キャンプ指導者資格特別認定」の申請の最終締切は 9 月 30 日です。
申請様式は都道府県キャンプ協会ポータルサイトに Excel 形式のものを置いてありますので、利用ください。

キャンプ用品配布事業に関するアンケートご回答のお願い

8 月 16 日付けで、キャンプ用品配布事業に関するアンケートをお送りしました。例年とは異なるスケジ
ュールでの依頼ですが、より早い時期に配布を行うためご協力をお願いいたします。なお、実際の配布につい
ては助成金の交付決定額や商品在庫等の理由によって変更が生じる場合がありますので、ご了承ください。

NCAJ CALENDAR

これまで

7/29-8/4	グリーンキャンプ El Tesoro de la Vida	@米国テキサス州
8/17-19	キャンプディレクター2級 PD 講習会(秋田県協会主催)	@秋田県立保呂羽山少年自然の家
8/20	グリーンキャンププロジェクト国外向け UPDATE Vol.9 発行	
8/24	メールマガジン CAMPING News vol.55 発行	
8/24	第1回 アウトドアチャレンジ野外力検定実行委員	@国立青少年センター
8/25	SKY CAMP (グリーンキャンプ) 説明会	@仙台
8/29	平成24年第4回常務会	次年度事業の進め方等の検討

これから

9/7	幼児キャンプ講習会プロジェクト(仮称)ミーティング	@未定
9/11	第7回 出会いと体験の森へ実行委員会	@スカウト会館
9/14	CONE 安全委員会	@国立青少年センター
9/14	メールマガジン CAMPING News vol.56 発行	
9/15-17	グリーンキャンプ SKY CAMP in Asagiri	@朝霧野外活動センター
9/30	関東ブロックミーティング	@おにし青少年野外活動センター

TOPICS

2013 ACA National Conference

アメリカキャンプ協会 (American Camp Association) の年次大会が、2013年2月にテキサス州ダラスで行われます。発表者の受付および大会参加の受付が始まっています。キャンプの最新トレンドを知る絶好の機会ですので、ぜひご参加ください。



日程：2013年2月12日(火)～15日(金)
会場：ハイアットリージェンシー・ダラス (テキサス州ダラス)

大会ホームページ <http://www.acacamps.org/conference>

- ・発表申込みの締め切りは9月17日(月)です。(ACA会員のみ)
- ・参加費にはACA会員割引や学生割引、早期申込み割引(～12/17)などさまざまな設定がありますので、詳しくは[参加申込みフォーム](#)をご覧ください。(大会HPの「Registration」参照)
- ・大会前には国際キャンプ連盟主催のキャンプツアーが行われます。(参加費別途150ドル)
- ・大会に関するQ&Aは[こちら](#) (大会HP参照)



ご不明の点がありましたら遠慮なく日本キャンプ協会(金山)までお問い合わせください。

野外教育入門シリーズ(杏林書院)

『障がいのある子どもの野外教育』が発行されました

杏林書院「野外教育入門シリーズ」の第4巻として『障がいのある子どもの野外教育』が発行されました。これは第1巻『野外教育の理論と実践』、第2巻『野外教育における安全管理と安全学習』、第3巻『水辺の野外教育』に続くもので、聴覚障がいや知的障がいなどの子どもたちと行うキャンプのノウハウが、障がいの理解に役立つ基本的な情報やたくさんの事例とともに紹介されています。書店等でお求め下さい。

野外教育入門シリーズ第4巻『障がいのある子どもの野外教育』

監修：星野敏男・金子和正 編：自然体験活動研究会 責任編集：多田聡
出版社：株式会社杏林書院 定価：2,000円＋税 ISBN 978-4-7644-1584-3



公益社団法人日本キャンプ協会 Monthly Report vol.5 2012/08/30
発行者：公益社団法人日本キャンプ協会 事務局長 金山竜也
お問い合わせ・電話：03-3469-0217 e-mail: ncaj@camping.or.jp



Monthly Report vol.6は9月27日(木)ころの発行を予定しています。